

《基礎科目》

科目名	文学				
担当者氏名	井料 洋美				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP3 グローバル化に対応した教養と実践的な専門知識を有すること。				

《授業の概要》

人はなぜ物語を求めるのでしょうか。それは物語の中にその時代や人々の喜びや悲しみ、愛、葛藤、悩みなどすべてのものが溶け込んでいるからではないでしょうか。本講座では近代文学を中心に作家とその作品を取り上げ、そこに描かれる人間の普遍的な問題について考えていきます。文学のおもしろさを知り、日本文化についての知識を高めることを目標とします。

《教科書》

三訂版 詳説 日本文学史
 (高等学校で使用した文学史、または国語便覧を持参できる場合は購入不要)

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

提出物は毎回、評価とコメントをつけて返却します。また優れた感想をクラスで紹介します。

《授業の到達目標》

夏目漱石や森鷗外をはじめ、芥川龍介、川端康成などの作品を読み、解説していきます。映像化されているものは鑑賞し、原作との違いに着目します。また『伊勢物語』『源氏物語』『今昔物語集』などの古典作品にも目を向け、古典と近代、ひいては私たちとの共通点を発見し、人間の本质、普遍性について考えていきます。そして一作品を選び、自分のことばで作品の魅力を伝えてもらいます。

《成績評価基準》

毎回の授業コメント(50%)を課題として重視します。自分がどう感じたかを自分のことばで表現してください。そして最後に作品をひとつ選んでレポートとして提出してもらいます。

《成績評価の方法》

レポート 20%
 課題 50%
 授業の取組 20%

《参考図書》

適宜紹介する。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション	第2回の授業で使用する配布資料を読む(2時間)
2	夏目漱石『こころ』	予習: 配布資料を読む(2時間) 復習: 再読しコメントを書く(2時間)
3	夏目漱石『こころ』	予習: 配布資料を読む(2時間) 復習: 再読しコメントを書く(2時間)
4	古典作品と現代のWeb小説の「ざまあ」	予習: 配布資料を読む(2時間) 復習: 再読しコメントを書く(2時間)
5	森鷗外『山椒大夫』	予習: 配布資料を読む(2時間) 復習: 再読しコメントを書く(2時間)
6	森鷗外『山椒大夫』	予習: 配布資料を読む(2時間) 復習: 再読しコメントを書く(2時間)
7	芥川龍之介『地獄変』	予習: 配布資料を読む(2時間) 復習: 再読しコメントを書く(2時間)
8	芥川龍之介『地獄変』	予習: 配布資料を読む(2時間) 復習: 再読しコメントを書く(2時間)
9	川端康成『伊豆の踊子』	予習: 配布資料を読む(2時間) 復習: 再読しコメントを書く(2時間)
10	川端康成『伊豆の踊子』	予習: 配布資料を読む(2時間) 復習: 再読しコメントを書く(2時間)
11	映画視聴『伊豆の踊子』	予習: 配布資料を読む(2時間) 復習: 再読しコメントを書く(2時間)
12	金城一紀『Go』	予習: 配布資料を読む(2時間) 復習: 再読しコメントを書く(2時間)
13	映画視聴『Go』前半	予習: 配布資料を読む(2時間) 復習: 再読しコメントを書く(2時間)
14	映画視聴『Go』後半	予習: 配布資料を読む(2時間) 復習: 再読しコメントを書く(2時間)
15	まとめ	レポートの作成、提出

《基礎科目》

科目名	パソコン				
担当者氏名	黒瀬 菜々				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP3 グローバル化に対応した教養と実践的な専門知識を有すること。 1-DP5 国際的なビジネスに携わるための専門知識や、日本語能力を身につけていること。				

《授業の概要》

基本的なパソコンスキルは社会人として必須であり、どのような場でも当然のスキルとして要求されるものである。この授業では、まずインターネット、Eメール、ワード、エクセル、パワーポイントなどの基礎的なスキルをしっかりと身につけることを目標としている。一人一人が自身の課題に取り組み、今後に活かせることを期待している。

《教科書》

適宜プリントを配布

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

授業において指定された課題に取り組み、教員からのチェックを受ける

《授業の到達目標》

1. ワード、エクセル、パワーポイントの基礎的な知識を身につけて実践できる。
2. Eメールのマナーを身につけて実践できる。
3. 情報リテラシーを意識しつつ、インターネットやスマートフォンを有効に利用できるようになる。

《成績評価基準》

1. 指定された課題を毎回完成させて提出すること。
2. 提出された課題の読みやすさ、正しさ、デザイン性などを判断し評価する。

《成績評価の方法》

筆記試験 30%
課題 40%
授業の取組 30%

《参考図書》

『学生のためのかんたんWord Excel PowerPoint入門』技術評論社

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション タイピング	復習：授業プリントをよく熟読し、理解すること(1時間)
2	Eメールのマナー インターネット	予習：課題内容について考えてくること(1時間) 復習：授業プリントの理解、復習と自らの実践を行うこと(1時間)
3	Word	予習：課題内容について考えてくること(1時間) 復習：授業プリントの理解、復習と自らの実践を行うこと(1時間)
4	Word	予習：課題内容について考えてくること(1時間) 復習：授業プリントの理解、復習と自らの実践を行うこと(1時間)
5	Word	予習：課題内容について考えてくること(1時間) 復習：授業プリントの理解、復習と自らの実践を行うこと(1時間)
6	Word	予習：課題内容について考えてくること(1時間) 復習：授業プリントの理解、復習と自らの実践を行うこと(1時間)
7	Excel	予習：課題内容について考えてくること(1時間) 復習：授業プリントの理解、復習と自らの実践を行うこと(1時間)
8	Excel	予習：課題内容について考えてくること(1時間) 復習：授業プリントの理解、復習と自らの実践を行うこと(1時間)
9	Excel	予習：課題内容について考えてくること(1時間) 復習：授業プリントの理解、復習と自らの実践を行うこと(1時間)
10	Excel	予習：課題内容について考えてくること(1時間) 復習：授業プリントの理解、復習と自らの実践を行うこと(1時間)
11	PowerPoint	予習：課題内容について考えてくること(1時間) 復習：授業プリントの理解、復習と自らの実践を行うこと(1時間)
12	PowerPoint	予習：課題内容について考えてくること(1時間) 復習：授業プリントの理解、復習と自らの実践を行うこと(1時間)
13	PowerPoint	予習：課題内容について考えてくること(1時間) 復習：授業プリントの理解、復習と自らの実践を行うこと(1時間)
14	まとめ	予習：課題内容について考えてくること(1時間) 復習：授業プリントの理解、復習と自らの実践を行うこと(1時間)
15	試験と振り返り	予習：試験のための準備をしてくること(2時間) 復習：試験後の復習と自らの実践を行うこと(1時間)

《基礎科目》

科目名	英語				
担当者氏名	BUI THI THU SANG				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP3 グローバル化に対応した教養と実践的な専門知識を有すること。				

《授業の概要》

英語の基礎文法を復習しながら、オフィスや日常生活における英語によるコミュニケーションに必要な語彙を学習し、TOEIC(Listening & Reading)対策を行う。

《教科書》

なし

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

課題は一週間以内フィードバックする。

《授業の到達目標》

英語に自信がない人にまずTOEIC(Listening & Reading)400点を目指し、オフィスや日常生活で出てくる基本的な英語の文書が読めるようになり、英語で簡単なやり取りができるようになる。

《成績評価基準》

演習問題提出
模擬試験

《成績評価の方法》

筆記試験 % レポート %
課題 50% 実技 %
授業の取組 50%
その他 () %

《参考図書》

「出るとこ集中10日間! TOEIC®テスト 文法編」八島晶(西東社)

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	Nouns (school and workplace)	予習内容(30分): Self-introduction 復習内容(30分): 演習問題
2	Adjectives (people and the world)	予習内容(30分): 事前配布資料を予習する 復習内容(30分): 演習問題
3	Verbs (life and services)	予習内容(30分): 事前配布資料を予習する 復習内容(30分): 演習問題
4	Adverbs & Prepositions (travel)	予習内容(30分): 事前配布資料を予習する 復習内容(30分): 演習問題
5	Tenses (general business)	予習内容(30分): 事前配布資料を予習する 復習内容(30分): 演習問題
6	Infinitives & Gerunds (personnel)	予習内容(30分): 事前配布資料を予習する 復習内容(30分): 演習問題
7	Comparisons (purchasing)	予習内容(30分): 事前配布資料を予習する 復習内容(30分): 演習問題
8	Voice (management issues)	予習内容(30分): 事前配布資料を予習する 復習内容(30分): 演習問題
9	Conjunctions (health)	予習内容(30分): 事前配布資料を予習する 復習内容(30分): 演習問題
10	Prepositions (finance)	予習内容(30分): 事前配布資料を予習する 復習内容(30分): 演習問題
11	Relative clauses (inquiry)	予習内容(30分): 事前配布資料を予習する 復習内容(30分): 演習問題
12	TOEIC対策	予習内容(30分): ノートを復習する 復習内容(30分): 間違った問題を理解して、メモする
13	TOEIC対策	予習内容(30分): ノートを復習する 復習内容(30分): 間違った問題を理解して、メモする
14	TOEIC対策	予習内容(30分): ノートを復習する 復習内容(30分): 間違った問題を理解して、メモする
15	TOEIC対策	予習内容(30分): ノートを復習する 復習内容(30分): 間違った問題を理解して、メモする

《基礎科目》

科目名	ことばとコミュニケーション				
担当者氏名	黒瀬 菜々				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP4 社会人また表現者として、十分なコミュニケーション能力を身につけていること。				

《授業の概要》

価値観や考え方が多様化している現在、自らの意見を言葉で表すことは社会人として必要なスキルであり、また自己表現の一つとして言葉を使用する機会も多い。日本語は使い分けが必要な言語である一方、新しい表現を生み出しやすい言葉でもある。この授業では、さまざまな資料からの日本語表現に多く触れつつ、自らも文章を書き、コミュニケーションの道具としてのことばを有効に活用できるスキルを磨く。

《授業の到達目標》

1. 社会に出るにあたって必要な文章力や表現力を磨き、場面に応じた日本語表現を使用することができる。
2. 自らの意見や表現したいことを、他者に伝えられるように言葉に表すことができる。
3. 語彙力や表現力を伸ばすために、普段から身の回りにおけることばの表現を調べ、それらを使用できるようにする。

《成績評価の方法》

筆記試験 40%
課題 30%
授業の取組 30%

《教科書》

適宜プリントを配布

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

コメントをつけて返却

《成績評価基準》

1. 予習で事前に表現を調べるなどし、各回における課題に即した文章を作成できていること。
2. 互いに表現したいことが十分に伝わっているか、他者との議論に積極的に参加すること。
3. 各回の冒頭に新しい語彙や表現についてグループ内発表を行うため、そのための事前準備をして臨んでいること。

《参考図書》

「声に出して読みたい日本語」 斎藤孝著(草思社文庫)
「入社1年目ビジネスマナーの教科書」 金森たかこ著(プレジデント社)

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション 自己紹介の言葉など	復習：自らの文章を推敲 (30分)
2	感覚の表現	予習：提示された課題について 事前に調べておく(30分) 復習：自らの文章を推敲 (30分)
3	感覚の表現	予習：提示された課題について 事前に調べておく(30分) 復習：自らの文章を推敲 (30分)
4	感覚の表現	予習：提示された課題について 事前に調べておく(30分) 復習：自らの文章を推敲 (30分)
5	言葉のスタイル	予習：提示された課題について 事前に調べておく(30分) 復習：自らの文章を推敲 (30分)
6	ロジカルに伝える	予習：提示された課題について 事前に調べておく(30分) 復習：自らの文章を推敲 (30分)
7	文章の構成	予習：提示された課題について 事前に調べておく(30分) 復習：自らの文章を推敲 (30分)
8	推敲	予習：提示された課題について 事前に調べておく(30分) 復習：自らの文章を推敲 (30分)
9	敬語	予習：提示された課題について 事前に調べておく(30分) 復習：自らの文章を推敲 (30分)
10	伝え方の配慮	予習：提示された課題について 事前に調べておく(30分) 復習：自らの文章を推敲 (30分)
11	状況説明	予習：提示された課題について 事前に調べておく(30分) 復習：自らの文章を推敲 (30分)
12	自己PR	予習：提示された課題について 事前に調べておく(30分) 復習：自らの文章を推敲 (30分)
13	自己PR	予習：提示された課題について 事前に調べておく(30分) 復習：自らの文章を推敲 (30分)
14	自己PR 復習	予習：提示された課題について 事前に調べておく(30分) 復習：自らの文章を推敲 (30分)
15	試験とまとめ	予習：期末試験課題について 熟慮しておく(30分) 復習：提出課題の見直し(30分)

《専門科目》

科目名	テレビドラマ論				
担当者氏名	今木 清志				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP2 メディアに関する職業意識と専門的な能力を兼ね備えていること。				

《授業の概要》

テレビドラマは時代とともに変遷と進化を果たしている。この授業では、プロデューサーとして多数のドラマを制作してきた教員がその実務経験を活かし、様々な時代のテレビドラマの映像を用いて、表現技法の変遷と、制作された時代との関連について分析し、日本のテレビドラマの潮流を概観する。さらに、演出やプロデュースの立場から、ドラマの制作過程について説明する。

《授業の到達目標》

- (1)日本のテレビドラマの時代ごとの変遷について説明できる
- (2)日本のテレビドラマの表現技法について、制作された時代と関連づけて説明できる
- (3)テレビドラマの放つメッセージを読み解くことができる

《成績評価の方法》

授業の取組 50%
 その他（リアクションペーパーなど） 50%

《教科書》

使用しない

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

講評や解説の時間を設ける

《成績評価基準》

- (1)日本のテレビドラマの時代ごとの変遷について正確に説明できているか評価する
- (2)日本のテレビドラマの表現技法について、制作された時代と関連づけて正確に説明できているか評価する
- (3)テレビドラマの放つメッセージを正確に読み解くことができているか評価する

《参考図書》

適宜紹介する

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	テレビドラマ創成期論 『私は貝になりたい』	予習：周辺作品や放送中のドラマを積極的に視聴する(2時間) 復習：授業内容を文章にまとめる(2時間)
2	テレビドラマ創成期論 『私は貝になりたい』	予習：周辺作品や放送中のドラマを積極的に視聴する(2時間) 復習：授業内容を文章にまとめる(2時間)
3	テレビドラマ創成期論 『私は貝になりたい』	予習：周辺作品や放送中のドラマを積極的に視聴する(2時間) 復習：授業内容を文章にまとめる(2時間)
4	ホームドラマ論『岸辺のアルバム』第1話	予習：周辺作品や放送中のドラマを積極的に視聴する(2時間) 復習：授業内容を文章にまとめる(2時間)
5	ホームドラマ論『岸辺のアルバム』最終話	予習：周辺作品や放送中のドラマを積極的に視聴する(2時間) 復習：授業内容を文章にまとめる(2時間)
6	ホームドラマ論 『北の国から』	予習：周辺作品や放送中のドラマを積極的に視聴する(2時間) 復習：授業内容を文章にまとめる(2時間)
7	青春群像ドラマ論 『ふぞろいの林檎たち』	予習：周辺作品や放送中のドラマを積極的に視聴する(2時間) 復習：授業内容を文章にまとめる(2時間)
8	恋愛ドラマ論『愛していると 言ってくれ』	予習：周辺作品や放送中のドラマを積極的に視聴する(2時間) 復習：授業内容を文章にまとめる(2時間)
9	警察ドラマ論『踊る大捜査線』第1話	予習：周辺作品や放送中のドラマを積極的に視聴する(2時間) 復習：授業内容を文章にまとめる(2時間)
10	警察ドラマ論『踊る大捜査線』第1話	予習：周辺作品や放送中のドラマを積極的に視聴する(2時間) 復習：授業内容を文章にまとめる(2時間)
11	演出論 『もう一度あなたと』	予習：周辺作品や放送中のドラマを積極的に視聴する(2時間) 復習：授業内容を文章にまとめる(2時間)
12	プロデュース論『ぼくらはみんな生きている』	予習：周辺作品や放送中のドラマを積極的に視聴する(2時間) 復習：授業内容を文章にまとめる(2時間)
13	プロデュース論『ぼくらはみんな生きている』	予習：周辺作品や放送中のドラマを積極的に視聴する(2時間) 復習：授業内容を文章にまとめる(2時間)
14	プロデュース論『ぼくらはみんな生きている』	予習：周辺作品や放送中のドラマを積極的に視聴する(2時間) 復習：授業内容を文章にまとめる(2時間)
15	まとめ	予習：周辺作品や放送中のドラマを積極的に視聴する(2時間) 復習：授業内容を文章にまとめる(2時間)

《専門科目》

科目名	観光入門				
担当者氏名	挽田 雅子				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP5 国際的なビジネスに携わるための専門知識や、日本語能力を身につけていること。				

《授業の概要》

観光は地域の活性化や雇用をもたらす主要産業の1つであり、現代人の生活になくてはならないものである。本講義では、観光の基本的な概念について学ぶ。また観光資源については教員が旅行業の実務経験を通して身につけた知識を伝えることで、旅の感動を共有しながら、自然、歴史的建造物、文化などについて理解を深める。

《教科書》

教科書は使用しない。プリントを配布する。

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

課題(小テスト)は返却後、解説と講評をする。

《授業の到達目標》

観光の現代的意義を説明できる。
日本の観光対象・観光資源について詳しく説明できる。
観光が内包する課題に関して、自分の考えを表現できる。

《成績評価基準》

観光関連の用語を説明することができる。
日本の観光資源について説明することができる。
観光業界で求められる人材として実践すべきことを述べる
ことができる。
観光が内包する課題に関して自分の考えを表現できる。

《成績評価の方法》

筆記試験 60% レポート 10%
課題(小テスト)10% 実技 %
授業の取組 10%
その他(発表)10%

《参考図書》

適宜紹介します。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	観光の意味と意義	予習：観光に関連する用語を調べる(2時間) 復習：観光の意義について整理する(2時間)
2	インバウンド (訪日外国人旅行)	予習：世界の観光統計を調べる(2時間) 復習：インバウンドツアーを考える(2時間)
3	現代観光の構成要素	予習：観光が人間にもたらす効果を考える(2時間) 復習：観光媒介について整理する(2時間)
4	観光資源と観光対象	予習：自分の身の回りの観光資源を考える(2時間) 復習：観光対象の特徴を整理する(2時間)
5	日本の観光資源 (西日本)	予習：西日本の観光資源について名称・位置を調べる(2時間) 復習：西日本の観光資源を整理する(2時間)
6	日本の観光資源 (東日本)	予習：東日本の観光資源について名称・位置を調べる(2時間) 復習：東日本の観光資源を整理する(2時間)
7	観光地を調べる 調べた観光地を発表する	予習：旅行パンフレットや旅行ガイドブックを読む(2時間) 復習：観光地の見どころについて整理する(2時間)
8	調べた観光地を発表する 他の発表者を評価する	予習：プレゼンテーションのリハーサルをする(2時間) 復習：他の発表者の観光地について整理する(2時間)
9	さまざまなツーリズム	予習：サステナブル・ツーリズムの考え方を調べる(2時間) 復習：新しい観光の例を整理する(2時間)
10	観光振興 開発と保護	予習：観光まちづくりとは何か考える(2時間) 復習：観光地の成立条件を整理する(2時間)
11	観光と旅行業	予習：消費者にとっての旅行会社利用の意義を考える(2時間) 復習：旅行会社の機能を整理する(2時間)
12	観光と宿泊 観光と交通	予習：交通の発達が行客にもたらす影響を考える(2時間) 復習：ホテルと旅館の違いを整理する(2時間)
13	観光と情報	予習：観光者が求める観光情報を考える(2時間) 復習：情報を発信する方法を整理する(2時間)
14	観光の歴史	予習：旅行が大衆化した要因を考える(2時間) 復習：旅の歴史を整理する(2時間)
15	観光産業の人材	予習：ホスピタリティーとは何か調べる(2時間) 復習：ホスピタリティーに接した経験を共有する(2時間)

《専門科目》

科目名	言語コミュニケーション論				
担当者氏名	黒瀬 菜々				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP4 社会人また表現者として、十分なコミュニケーション能力を身につけていること。 1-DP5 国際的なビジネスに携わるための専門知識や、日本語能力を身につけていること。				

《授業の概要》

この科目は留学生向けの内容です。社会に出るにあたって、社会で起きている出来事を客観的に理解し、自らの意見を述べられる力が必要です。この授業ではニュースの概要や意見を発表し、それに関する意見交換を行います。また、ニュースやCM映像など多様な日本語メディアに触れつつ日本語表現を身につけていくこと、時事問題などについて自分で考える習慣を身につけることを目指します。

《授業の到達目標》

1. 自らの意見や物事に関する説明を、言葉で分かりやすく表して伝えることができる。
2. 相手の話を聞く態度を養い、積極的に意見交換に参加する。
3. 時事問題や国際情勢など、情報を正しく得ることができる。

《成績評価の方法》

筆記試験 30%
課題 30%
授業の取組 40%

《教科書》

適宜プリントを配布

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

《成績評価基準》

1. 各回に行うニュースの発表において、きちんと準備し練習して臨むこと、また各回の課題に自らの言葉で具体的に答えること。
2. 意見交換や発表時に、質問や意見を積極的に述べること。
3. 信頼できる情報元がどのようなものかを考え、発表時には注意して情報を得ること。

《参考図書》

『シャドーイング日本語を話そう就職・アルバイト・進学面接編』 斎藤仁志他著(くろしお出版)

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション 授業内容と課題について	復習：時事問題を調べる/ 表現の復習(2時間)
2	日本語の発音について	予習：発表準備/新しい言葉を調べて記録する(2時間) 復習：時事問題を調べる/ 表現の復習(2時間)
3	日本語表現を増やす	予習：発表準備/新しい言葉を調べて記録する(2時間) 復習：時事問題を調べる/ 表現の復習(2時間)
4	日本語表現を増やす	予習：発表準備/新しい言葉を調べて記録する(2時間) 復習：時事問題を調べる/ 表現の復習(2時間)
5	日本語表現を増やす	予習：発表準備/新しい言葉を調べて記録する(2時間) 復習：時事問題を調べる/ 表現の復習(2時間)
6	日本語表現を増やす	予習：発表準備/新しい言葉を調べて記録する(2時間) 復習：時事問題を調べる/ 表現の復習(2時間)
7	ニュース記事の要約と意見	予習：発表準備/新しい言葉を調べて記録する(2時間) 復習：時事問題を調べる/ 表現の復習(2時間)
8	ニュース記事の要約と意見	予習：発表準備/新しい言葉を調べて記録する(2時間) 復習：時事問題を調べる/ 表現の復習(2時間)
9	ニュース記事の要約と意見	予習：発表準備/新しい言葉を調べて記録する(2時間) 復習：時事問題を調べる/ 表現の復習(2時間)
10	ニュース記事の要約と意見	予習：発表準備/新しい言葉を調べて記録する(2時間) 復習：時事問題を調べる/ 表現の復習(2時間)
11	映像から言葉へ (ストーリーを記述する)	予習：発表準備/新しい言葉を調べて記録する(2時間) 復習：時事問題を調べる/ 表現の復習(2時間)
12	映像から言葉へ (ストーリーを記述する)	予習：発表準備/新しい言葉を調べて記録する(2時間) 復習：時事問題を調べる/ 表現の復習(2時間)
13	映像から言葉へ (ストーリーを記述する)	予習：発表準備/新しい言葉を調べて記録する(2時間) 復習：時事問題を調べる/ 表現の復習(2時間)
14	映像から言葉へ (ストーリーを記述する)	予習：発表準備/新しい言葉を調べて記録する(2時間) 復習：時事問題を調べる/ 表現の復習(2時間)
15	試験とまとめ	予習：試験のための課題に取り組む(4時間) 復習：返却された課題の復習

《専門科目》

科目名	総合演習				
担当者氏名	宮谷 未知子、黒瀬 菜々、金子 朋未				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・必修	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP4 社会人また表現者として、十分なコミュニケーション能力を身につけていること。				

《授業の概要》

進路ガイダンスや、学校全体のテーマ（学務課、学生支援部、保健室等からの伝達、就職模擬テスト等）に対応する。本学科は、対外イベントの開催、TV 局やラジオ番組からの取材依頼、芸能事務所からの問い合わせが多いので、それらに学科全体として対応しつつ、イベント準備・メディアからの情報の周知を行う。一般企業への就職を目指す学生に対しては、G 検合格を目指す中で、社会人として必要なマナーや価値観を学ぶ。

《授業の到達目標》

本演習の目的は、第一にキャンパスライフを有意義に送るために必要とされる基本的な知識や教養を身につけること、グローバル人材ビジネス実務検定の受験を通し、一般企業において常識とされる知識を得る事である。第二にメディア業界で活躍するために必要とされるライブ配信サービス「SHOWROOM」での配信に習熟する事、第三に、進路情報に積極的に触れることで自身の進路について考えられるようになることである。

《成績評価の方法》

レポート 20%
授業の取組 70%

《教科書》

西短進路指導部「就職活動ハンドブック」（2021）
グローバル人材ビジネス実務検定テキスト
授業内にて配布

《課題（試験、レポート等）に対するフィードバックの方法》

企画案および反省点のレポートに対し、講評の時間を設ける。

《成績評価基準》

「SHOWROOM」は、グループを形成して配信し、各グループに配信内容の企画案および反省点のレポートを提出させる。その内容および配信への取り組みを評価する。また、その他の進路ガイダンスやイベント企画・準備、検定対策の授業においては取り組みの姿勢を重視する。

《参考図書》

「街場のメディア論」著者：内田樹

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	状況説明1	予習：学内の年間行事、制度等の確認（30分） 復習：説明を受けた内容をメモし、見直す（30分）
2	状況説明2 / G 検 第一印象～目録	予習：学内の年間行事、制度等の確認 / G 検テキストを読む（30分） 復習：説明を受けた内容をメモし、見直す（30分）
3	SHOWROOM配信 / G 検 あいさつ～姿勢・動作	予習：説明を受けた内容をメモし、見直す（30分） 復習：配信の反省レポート / G 検問題見直し（30分）
4	SHOWROOM配信 / G 検 話し方・聴き方～接客英語	予習：説明を受けた内容をメモし、見直す（30分） 復習：配信の反省レポート / G 検問題見直し（30分）
5	SHOWROOM配信 / G 検 会話～コミュニケーション	予習：説明を受けた内容をメモし、見直す（30分） 復習：配信の反省レポート / G 検問題見直し（30分）
6	SHOWROOM配信 / 環境整備～コミュニケーション	予習：説明を受けた内容をメモし、見直す（30分） 復習：配信の反省レポート / G 検問題見直し（30分）
7	SHOWROOM配信 / おもてなし	予習：説明を受けた内容をメモし、見直す（30分） 復習：配信の反省レポート / G 検問題見直し（30分）
8	進路ガイダンス	予習：自身の卒業後の進路について情報収集を行う（30分） 復習：ガイダンス内容の振り返り（30分）
9	メンタルヘルス講座	予習：入学後の生活および自身の現状を振り返る（30分） 復習：講座内容の復習（30分）
10	進路ガイダンス	予習：一般的な SPI の自主学習 / G 検語彙の暗記（30分） 復習：SPI 自己学習の見直し / G 検内容復習（30分）
11	就職模擬試験（第一スタジオ） / G 検 過去問題	予習：一般的な SPI の自主学習 / G 検語彙の暗記（30分） 復習：模擬試験の自己採点を行う（30分）
12	進路ガイダンス	予習：自身の卒業後の進路について情報収集を行う（30分） 復習：講座内容の復習（30分）
13	SHOWROOM配信 / G 検 過去問題	予習：ライブ配信内容の企画案作成 / G 検語彙の暗記（30分） 復習：配信の反省レポート / G 検テスト勉強（30分）
14	夏のオープンキャンパス準備 / G 検本試験実施	予習：オープンキャンパス企画案作成 / G 検テスト勉強（30分） 復習：準備の進行状況の確認 / G 検復習（30分）
15	夏のオープンキャンパス準備 / G 検本試験 復習	予習：オープンキャンパス企画案作成 / G 検自己採点（30分） 復習：準備の進行状況の確認 / G 検復習（30分）

《専門科目》

科目名	イベント研修				
担当者氏名	徳永 玲子、今木 清志、宮谷 未知子、黒瀬 菜々、金子 朋未				
授業方法	演習	単位・必修	2単位・必修	開講年次・開講期	1年・通年（前期）
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP2 メディアに関する職業意識と専門的な能力を兼ね備えていること。 1-DP4 社会人また表現者として、十分なコミュニケーション能力を身につけていること。				

《授業の概要》

本学科は対外ライブを年3回程度開催、対外発表会を年1回開催し、ダンスユニット・声優ユニット・演劇ユニット・テクグループそれぞれの学生達が自力で対外的イベントを構成・展開しうる水準を目指すために、テレビドラマの制作現場でプロデューサーとしての実務経験を持つ教員等が指導する。

《教科書》

なし

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

イベント終了後、学生同士でディスカッションをする場を設け、総合的なフィードバックを行う。

《授業の到達目標》

本学科はあくまで「デビューの名に値するデビューを目指す」学科である。対外的イベントを展開しうるだけの基礎的資質を有した学生に対して、ジャンル別の特訓を課し、学科主催のイベントという総合的なエンターテイメントショーを構成できる水準にまで上昇せしめることを目的とする。

《成績評価基準》

各グループがいかなる自主的訓練を積み重ねたか、観客にいかなる感動を与えたかの2点に於いて評価する。

《成績評価の方法》

授業の取組 100%

《参考図書》

世界カワイイ革命
櫻井孝昌 著（PHP 新書）

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	ガイダンス(年間計画)	予習:学内の年間行事、制度等を確認すること(30分) 復習:説明内容メモ見直し(30分)
2	イベント企画1	予習:年間イベント計画の検討(30分) 復習:イベント企画の内容の見直し(30分)
3	イベント企画2	予習:年間イベント計画の検討(30分) 復習:イベント企画の内容の見直し(30分)
4	イベント練習1	予習:準備の進行状況をまとめる(30分) 復習:練習内容の見直し(30分)
5	イベント練習2	予習:準備の進行状況をまとめる(30分) 復習:練習内容の見直し(30分)
6	イベント出演	予習:準備の進行状況をまとめる(30分) 復習:本番の反省(30分)
7	出演イベントに関する振り返り	予習:準備の進行状況をまとめる(30分) 復習:ライブ配信内容の企画案作成(30分)
8	「SHOWROOM」学科配信に向けた企画・構成1	予習:準備の進行状況をまとめる(30分) 復習:ライブ配信内容の企画案作成(30分)
9	「SHOWROOM」学科配信に向けた企画・構成2	予習:準備の進行状況をまとめる(30分) 復習:ライブ配信内容の企画案作成(30分)
10	「SHOWROOM」学科配信に向けた企画・構成3	予習:準備の進行状況をまとめる(30分) 復習:ライブ配信内容の企画案作成(30分)
11	「SHOWROOM」学科配信に向けた練習1	予習:ライブ配信内容の企画内容の見直し(30分) 復習:配信ライブの練習内容の検討(30分)
12	「SHOWROOM」学科配信に向けた練習2	予習:ライブ配信内容の企画内容の見直し(30分) 復習:配信ライブの練習内容の検討(30分)
13	「SHOWROOM」学科配信に向けた練習3	予習:ライブ配信内容の企画内容の見直し(30分) 復習:配信ライブの練習内容の検討(30分)
14	「SHOWROOM」学科配信の実施4	予習:ライブ配信内容の企画内容の見直し(30分) 復習:配信ライブ本番に対する反省(30分)
15	1年間の振り返り・後期イベントの企画提案	予習:前期実施したイベントの振り返り(30分) 復習:後期イベントへの企画を検討する(30分)

《専門科目》

科目名	メイク				
担当者氏名	南 ありさ				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP2 メディアに関する職業意識と専門的な能力を兼ね備えていること。				

《授業の概要》

肌やメイク道具の使い方を学ぶ
自身の素顔を知り、そこから様々なメイク仕方を学ぶ

《教科書》

なし

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

実技後、個別にフィードバックを行う

《授業の到達目標》

肌や化粧品道具について知る
様々なパターンのメイク技術を習得をする

《成績評価基準》

実技試験で評価

《成績評価の方法》

筆記試験 10% レポート 20%
課題 10% 実技 70%
授業の取組 20%
その他 () %

《参考図書》

西島悦『バランス美人メイクのきほん』マガジンハウス

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション	メイク雑誌を確認(予習30分)
2	肌について	ご自身の肌について考える(予習15分)
3	ベース実技	肌のしくみを振り返る(復習15分) ご自身の下地やファンデーションの種類を確認(予習15分)
4	ベース実技	下地やファンデーションの種類を確認(復習15分) ご自身のアイブローの種類について知る(予習15分)
5	アイブロー実技	ベースの仕上げによっての見え方や実技の確認(復習15分) アイシャドーの色味や形状を確認(予習15分)
6	目元実技	眉の描き方を確認(復習15分) アイラインの引き方によってどのように見えるか(復習15分)
7	目元実技	アイシャドーによってどのように見えてくるか確認(復習15分) チークの色味や形状を確認(復習15分)
8	チーク実技	アイラインの引き方によっての見え方確認(復習15分) リップの色味、形状の確認(予習15分)
9	口元、仕上げ実技	チークの入れ方によっての見え方確認(復習15分) ご自身のリップなどの形状、色味を確認(予習15分)
10	テーマに合わせた実技	前回の復習(復習15分) テーマに合わせて、プランニング(予習15分)
11	テーマに合わせた実技	前回の復習(復習15分) テーマに合わせて、プランニング(予習15分)
12	テーマに合わせた実技	前回の復習(復習15分) テーマに合わせて、プランニング(予習15分)
13	テーマに合わせた実技	前回の復習(復習15分) テーマに合わせて、プランニング(予習15分)
14	テーマに合わせた実技	前回の復習(復習15分) テーマに合わせて、プランニング(予習15分)
15	まとめ	今まで学習したことを確認(復習30分)

《実務科目》

科目名	アナウンスメント				
担当者氏名	金子 朋未				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP2 メディアに関する職業意識と専門的な能力を兼ね備えていること。				

《授業の概要》

レポートやナレーション経験のある教員が、人前で話したり、原稿を読むに当たっての表現方法について、その実務経験を活かし、滑舌や発声といった基本を大切にしながらも様々なパターンのアナウンスの原稿を用いた実践的授業を行う。

《教科書》

使用しない

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

講評、解説の時間を設ける

《授業の到達目標》

滑舌よくしゃべることはもちろん、自分がどう映っているか「映像」を考えながら、その場に応じた適切な言葉を用いて発言することができるようになる。
文章の意味が、どのような言い回しや表現にすれば伝わるかと工夫できるようになる。

《成績評価基準》

授業で習った発声方法、滑舌、言葉遣いをどのくらい習得できているか、見ている人に伝わるように、話すスピードや内容の構成方法に工夫があるか、実技試験で判断する。
また、毎回の授業で、指摘された改善点を習得しようとしているか、授業へ取り組む姿勢を評価する。

《成績評価の方法》

実技 40% 授業の取組 60%

《参考図書》

適宜紹介する。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	自己 PR・発声	発声練習(30分) 授業で学んだ表現方法の復習(30分)
2	自己 PR・発声	発声練習(30分) 授業で学んだ表現方法の復習(30分)
3	アクセントについて	発声練習(30分) アクセント辞典で正しいアクセントか確認する(30分)
4	鼻濁音・無声音について	発声練習(30分) 鼻濁音や無声音についてノートにまとめる(30分)
5	ナレーションのやり方	発声練習(30分) テレビのナレーションを意識して聞く(30分)
6	ナレーション(実践)	発声練習(30分) 授業で学んだ表現方法の復習(30分)
7	ナレーション(実践)	発声練習(30分) 授業で学んだ表現方法の復習(30分)
8	原稿読み	発声練習(30分) 文章のどこが大切な言葉か印をつける(30分)
9	原稿読み	発声練習(30分) 授業で習った原稿を声に出して読む(30分)
10	ニュース	発声練習(30分) ニュースを見る(30分)
11	ニュース	発声練習(30分) 改善点をノートにまとめる(30分)
12	朗読	発声練習(30分) 好きな本を声に出して読む(30分)
13	朗読	発声練習(30分) 好きな本を声に出して読む(30分)
14	インタビュー	発声練習(30分) 授業でインタビューで答えやすかった質問をノートにまとめる(30分)
15	まとめ	発声練習(30分) 授業で学んだ表現方法の復習(30分)

《実務科目》

科目名	演劇表現基礎演習				
担当者氏名	徳永 玲子				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに沿って 重点的に身につける能力	1-DP2 メディアに関する職業意識と専門的な能力を兼ね備えていること。				

《授業の概要》

演技の基礎 発声練習 エチュード パントマイム 即興劇
朗読 ナレーション アフレコ

《教科書》

プリント配布 「話術上達のための基礎的訓練」教材配布

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

講評や、解説の時間を設ける。
レポート課題などは、コメントをつけて返却する。

《授業の到達目標》

大きな声で はきはきと 表現することができる。

《成績評価基準》

「50音の歌」の朗読

《成績評価の方法》

筆記試験 10% レポート %
課題 % 実技 70%
授業の取組 20%
その他 () %

《参考図書》

適宜紹介します。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	発声 腹式呼吸 長音 短音 エチュード歩く	教材「話術上達のための基礎的訓練」を読む。(30分) 本日の授業のおさらい(30分)
2	発声 鼻濁音 口ガトム 表 エチュード	教材「話術上達のための基礎的訓練」を読む。(30分) 本日の授業のおさらい(30分)
3	発声 母音の無声化 プ レゼント原稿を読む	教材「話術上達のための基礎的訓練」を読む。(30分) 本日の授業のおさらい(30分)
4	発声 アクセント ニュース原稿を読む	教材「話術上達のための基礎的訓練」を読む。(30分) 本日の授業のおさらい(30分)
5	発声「50音の歌」朗読 天気原稿を読む	教材「話術上達のための基礎的訓練」を読む。(30分) 本日の授業のおさらい(30分)
6	発声 漢字テスト 業界用語 エチュード	教材「話術上達のための基礎的訓練」を読む。(30分) 本日の授業のおさらい(30分)
7	発声 絵本の朗読 演技「本物は誰だ」	教材「話術上達のための基礎的訓練」を読む。(30分) 本日の授業のおさらい(30分)
8	発声 物語の朗読 演技 押し売りトーク	教材「話術上達のための基礎的訓練」を読む。(30分) 本日の授業のおさらい(30分)
9	発声 ナレーション 演技 職業当てゲーム	教材「話術上達のための基礎的訓練」を読む。(30分) 本日の授業のおさらい(30分)
10	発声 「ローマの休日」 アフレコ 正当化	教材「話術上達のための基礎的訓練」を読む。(30分) 本日の授業のおさらい(30分)
11	発声 ナレーション 性格付け 喜怒哀楽	教材「話術上達のための基礎的訓練」を読む。(30分) 本日の授業のおさらい(30分)
12	発声 台詞を読む 「ウイック殺人事件」	教材「話術上達のための基礎的訓練」を読む。(30分) 本日の授業のおさらい(30分)
13	発声 台詞を読む 短編エチュード	教材「話術上達のための基礎的訓練」を読む。(30分) 本日の授業のおさらい(30分)
14	発声 「外郎売」朗読 エチュード「観察」	教材「話術上達のための基礎的訓練」を読む。(30分) 本日の授業のおさらい(30分)
15	発声 「50音の歌」 朗読テスト	教材「話術上達のための基礎的訓練」を読む。(30分) 本日の授業のおさらい(30分)

《実務科目》

科目名	演劇的所作				
担当者氏名	徳永 玲子、屋宜 一隆、松林 晴彦				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに沿って 重点的に身につける能力	1-DP2 メディアに関する職業意識と専門的な能力を兼ね備えていること。				

《授業の概要》

日本舞踊（徳永） 基本の動作 振付
 アクション（屋宜）（現代アクション・時代劇・スタント他）
 基礎、知識、実技演習
 タップダンス（松林）体を使った「打楽器」としてのタップを学ぶ。その歴史、シューズや板の解説、人体の構造に基づき無理なく体を使って強い打撃を生む方法を学び、実践。リズムについての「楽典」の基礎を学ぶ。振りを覚え、体感。

《授業の到達目標》

日本舞踊 博多どんたく出演「黒田節」「京の四季」を踊ることができるようになる。アクション 基本的な知識、動作の習得。タップダンス 基本的なステップを学び、自然なフォームで音を出せるようになる。定番ルーティーン（振付）の「シム・シャム」を覚え、曲に合わせて踏めるようになる。タップでリズムを表現し、短いパフォーマンスができるようになる。

《成績評価の方法》

筆記試験 % レポート %
 課題 % 実技 60 %
 授業の取組 30 %
 その他（パフォーマンス力）10 %

《教科書》

なし

《課題（試験、レポート等）に対するフィードバックの方法》

最終回のパフォーマンスで評価。

《成績評価基準》

日本舞踊 振りを覚え、いかに正確に踊るか。
 アクション 実技はもちろん、授業の取り組み・態度を重視。
 タップダンス 基本ステップが明確に再現できているか、ルーティーンを正しく覚え、曲の実速で表現できているか。衆目を集める魅力的なパフォーマンスをした者には加点する。

《参考図書》

基礎から始める殺陣・アクション入門

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	基本の動作 振付 「博多どんたく」	浴衣の着付け・「博多どんたく」パレードの動画を見る(30分) 本日の授業のおさらい(30分)
2	基本の動作 振付 「博多どんたく」	浴衣の着付け・「博多どんたく」パレードの動画を見る(30分) 本日の授業のおさらい(30分)
3	基本の動作 振付 「博多どんたく」	浴衣の着付け・「博多どんたく」パレードの動画を見る(30分) 本日の授業のおさらい(30分)
4	基本の動作 振付 「京の四季」	浴衣の着付け・「京の四季」の動画を見る(30分) 本日の授業のおさらい(30分)
5	基本の動作 振付 「黒田節」	浴衣の着付け・「黒田節」の動画を見る(30分) 本日の授業のおさらい(30分)
6	アクションに関するガイダンス	殺陣・アクションの動画を見る(30分) 本日の授業のおさらい(30分)
7	基本動作 (マット・受け身)	殺陣・アクションの動画を見る(30分) 本日の授業のおさらい(30分)
8	基本動作(マット・アクロバットなど)	殺陣・アクションの動画を見る(30分) 本日の授業のおさらい(30分)
9	基本動作 (突き・蹴り)	殺陣・アクションの動画を見る(30分) 本日の授業のおさらい(30分)
10	基本動作 (殺陣回り)	殺陣・アクションの動画を見る(30分) 本日の授業のおさらい(30分)
11	シューズ各部の名称・基本姿勢・基礎練習	タップの歴史を検索し、読んでおく(30分) 本日の授業のおさらい(30分)
12	基礎練習ステップ・ヒール・スタンプ	タップの「ステップ・ヒール・スタンプ」とは...検索(30分) 本日の授業のおさらい(30分)
13	基礎練習シャッフル・フラップ	タップの「シャッフル・フラップ」とは...検索(30分) 本日の授業のおさらい(30分)
14	基礎練習タイムステップ 「シム・シャム」	タップのルーティーン(振付)「シム・シャム」とは...検索(30分) 本日の授業のおさらい(30分)
15	基礎練習、リズム表現、実技試験、まとめ	「シム・シャム」のおさらい(30分)

《実務科目》

科目名	ボーカル（声楽）				
担当者氏名	林 麻耶				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP2 メディアに関する職業意識と専門的な能力を兼ね備えていること。				

《授業の概要》

ソプラノ歌手である教員が、より良く歌えるような発声方法、歌を通しての表現方法、読譜力などの音楽の基本的な部分を教えます。
最終回には、公開発表会を行い、人前で歌えるように作品を仕上げていきます。

《授業の到達目標》

歌を通して、様々な時代の様式、作曲家による作品の魅力を知り、合唱やミュージカルのアンサンブル作品に取り組むことにより、仲間と音楽を作りあげることの楽しさや難しさを感じていくことを目標とします。

《成績評価の方法》

実技 60%
授業の取組 40%

《教科書》

コーラス・トレーニング2
(2年間使用します)

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

試験は全て実技です。
動画撮影を行い、振り返って感想を述べあうと共に、今後の課題を確認します。

《成績評価基準》

到達目標に基づき、平常の授業への取り組みと、積極的な姿勢を総合的に評価します。

《参考図書》

授業時にプリントを配布します。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	自己紹介 (音楽と私)	自己紹介を準備する(30分) 授業で学習した内容の確認、理解を深める(30分)
2	発声方法 体操・正しい姿勢	課題曲の練習(音取りをしたり音源を聞いたりする)(30分) 授業で学習した内容の確認、理解を深める(30分)
3	腹式呼吸と胸式呼吸	課題曲の練習(音取りをしたり音源を聞いたりする)(30分) 授業で学習した内容の確認、理解を深める(30分)
4	腹式呼吸と胸式呼吸	課題曲の練習(音取りをしたり音源を聞いたりする)(30分) 授業で学習した内容の確認、理解を深める(30分)
5	声帯の仕組み 子音と母音	課題曲の練習(音取りをしたり音源を聞いたりする)(30分) 授業で学習した内容の確認、理解を深める(30分)
6	ト音とヘ音 楽譜の読み方	課題曲の練習(音取りをしたり音源を聞いたりする)(30分) 授業で学習した内容の確認、理解を深める(30分)
7	二部合唱	課題曲の練習(音取りをしたり音源を聞いたりする)(30分) 授業で学習した内容の確認、理解を深める(30分)
8	二部合唱	課題曲の練習(音取りをしたり音源を聞いたりする)(30分) 授業で学習した内容の確認、理解を深める(30分)
9	二部合唱	課題曲の練習(音取りをしたり音源を聞いたりする)(30分) 授業で学習した内容の確認、理解を深める(30分)
10	ミュージカル	課題曲の練習(音取りをしたり音源を聞いたりする)(30分) 授業で学習した内容の確認、理解を深める(30分)
11	ミュージカル	課題曲の練習(音取りをしたり音源を聞いたりする)(30分) 授業で学習した内容の確認、理解を深める(30分)
12	ミュージカル	課題曲の練習(音取りをしたり音源を聞いたりする)(30分) 授業で学習した内容の確認、理解を深める(30分)
13	ミュージカル	課題曲の練習(音取りをしたり音源を聞いたりする)(30分) 授業で学習した内容の確認、理解を深める(30分)
14	発表会リハーサル 仕上げ	課題曲の練習(音取りをしたり音源を聞いたりする)(30分) 授業で学習した内容の確認、理解を深める(30分)
15	公開発表会 まとめ	課題曲の練習(音取りをしたり音源を聞いたりする)(30分) 授業で学習した内容の確認、理解を深める(30分)

《実務科目》

科目名	洋舞特演 - A				
担当者氏名	宮谷 未知子				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP2 メディアに関する職業意識と専門的な能力を兼ね備えていること。				

《授業の概要》

ダンスインストラクターやアーティストバックダンサーの実務経験を持つ教員が、身体表現の幅を広げステージで表現するための実践的授業を行う。また、踊るために必要な身体づくりのためのトレーニング指導を行う。

《教科書》

なし

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

実技試験のビデオ撮影を行い、今後の課題や改善点を一人ずつフィードバックする時間を設ける。

《授業の到達目標》

ステージパフォーマンスの基本となる JAZZ ダンスの基礎的な動きを一通り経験し、身体の使い方を覚える。はじめは思い通りに身体が動かないかもしれないが、まずは自身の身体と向き合いコントロールしようとする姿勢を身につける。

《成績評価基準》

授業で習った様々な動きや振付をどれくらい習得できているか実技試験で判断する。毎回の授業で集中し自身の身体をコントロールしようとするかどうかが、その取り組みの姿勢を評価する。

《成績評価の方法》

実技 30%
授業の取組 70%

《参考図書》

「ダンス解剖学」
ジャッキー・グリーン・ハース著
武田淳也 監訳

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	はじめに(レッスンを受講するにあたって)	予習:好きなアーティストのパフォーマンスを研究する(30分) 復習:授業で習った内容を復習する(30分)
2	基本的な動き1(ロールアップ、ロールダウン)	予習:好きなアーティストのパフォーマンスを研究する(30分) 復習:授業で習った動作を復習する(30分)
3	基本的な動き2(ポールド・ブラ、プリエ)	予習:好きなアーティストのパフォーマンスを研究する(30分) 復習:授業で習った動作を復習する(30分)
4	基本的な動き3(タンジュ、バランス)	予習:好きなアーティストのパフォーマンスを研究する(30分) 復習:授業で習った動作を復習する(30分)
5	基本的な動き4(アイソレーション)	予習:指定したダンス動画を視聴し、動きの特徴を分析する(30分) 復習:授業で習った動作を復習する(30分)
6	基本的な動き5(フラットバック、ストレッチ)	予習:指定したダンス動画を視聴し、動きの特徴を分析する(30分) 復習:授業で習った動作を復習する(30分)
7	基本的な動き6(ドルフィン)	予習:指定したダンス動画を視聴し、動きの特徴を分析する(30分) 復習:授業で習った動作を復習する(30分)
8	基本的な動き7(パドブレ・ターン)	予習:指定したダンス動画を視聴し、動きの特徴を分析する(30分) 復習:授業で習った動作を復習する(30分)
9	基本的な動き8(クロスフロア)	予習:指定したダンス動画を視聴し、動きの特徴を分析する(30分) 復習:授業で習った動作を復習する(30分)
10	基本的な動きを組み合わせたコンビネーション1	予習:指定したダンス動画を視聴し、動きの特徴を分析する(30分) 復習:授業で習った動作を復習する(30分)
11	基本的な動きを組み合わせたコンビネーション2	予習:指定したダンス動画を視聴し、動きの特徴を分析する(30分) 復習:授業で習った動作を復習する(30分)
12	基本的な動きを組み合わせたコンビネーション3	予習:指定したダンス動画を視聴し、動きの特徴を分析する(30分) 復習:授業で習った動作を復習する(30分)
13	基本的な動きを組み合わせたコンビネーション4	予習:指定したダンス動画を視聴し、動きの特徴を分析する(30分) 復習:授業で習った動作を復習する(30分)
14	実技テスト・ビデオ撮影	予習:テストに向けてこれまでのレッスンの復習する(30分) 復習:テストの内容を復習する(30分)
15	フィードバック・まとめ	予習:テストに向けてこれまでのレッスンの復習する(30分) 復習:テストの内容を復習する(30分)

《実務科目》

科目名	モデルストリート				
担当者氏名	川野 聡子				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP2 メディアに関する職業意識と専門的な能力を兼ね備えていること。				

《授業の概要》

プロモデルレッスンコーチがモデルの経験を生かし、モデルウォーキングを学びます。自分の体のクセを知り、改善に向け体作りをしながら、様々なテーマや音楽、シチュエーションによって異なるウォーキングや表現方法を取得します。

《教科書》

使用しない

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

試験のフィードバックとして、講評や解説の時間を設ける

《授業の到達目標》

- ・姿勢が美しくなる
- ・基礎のウォーキングを身に付けることができる
- ・リズム感や表情力を養うことができる

《成績評価基準》

授業の取組み、実技試験の結果により評価する

《成績評価の方法》

筆記試験 % レポート %
 課題 % 実技 80%
 授業の取組 20%
 その他 () %

《参考図書》

使用しない

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	体のくせを知る	ストレッチ・筋トレ (30分)・姿勢を意識する(30分)
2	基礎 ストレッチ・姿勢・ウォーキング基礎	ストレッチ・筋トレ (30分)・姿勢を意識する(30分)
3	基礎 ストレッチ・ウォーキング・ターン	ストレッチ・筋トレ (30分)・ターンの練習(30分)
4	基礎 ストレッチ・ウォーキング・ターン	ストレッチ・筋トレ (30分)・ターンの練習(30分)
5	基礎 ストレッチ・ウォーキング・ポーズ	ストレッチ・筋トレ (30分)・ターンの練習(30分)
6	基礎 ストレッチ・ウォーキング・ポーズ	ストレッチ・筋トレ (30分)・ポーズの練習(30分)
7	基礎 ウォーキング・ポーズ・表情	ストレッチ・筋トレ (30分)・表情の練習(30分)
8	基礎 ウォーキング・ポーズ・表情	ストレッチ・筋トレ (30分)・表情の練習(30分)
9	基礎 ウォーキング・フォーメーション	ストレッチ・筋トレ (30分)・ポーズ、表情の練習(30分)
10	基礎 ウォーキング・フォーメーション	ストレッチ・筋トレ (30分)・ポーズ、表情の練習(30分)
11	フロアショー	ストレッチ・筋トレ (30分)・ウォーキング+ター ン(30分)
12	フロアショー	ストレッチ・筋トレ (30分)・ウォーキング+ター ン(30分)
13	ステージショー	ストレッチ・筋トレ (30分)・ウォーキング+ター ン(30分)
14	ステージショー	ストレッチ・筋トレ (30分)・ウォーキング+ター ン(30分)
15	まとめ	ストレッチ・筋トレ (30分)・ウォーキング+ター ン(30分)

《実務科目》

科目名	マナーと表現				
担当者氏名	山下 聖子				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP2 メディアに関する職業意識と専門的な能力を兼ね備えていること。				

《授業の概要》

社会人として必要なマナーの基礎を中心にコミュニケーション力、ビジネスマナー、日本のしきたり、国際プロトコルを学ぶ。具体的には接遇の基本である第一印象・あいさつ、身だしなみ、態度表情、言葉遣い、話し方・聞き方から、来客対応、電話対応、ビジネス文書、仕事の進め方、食事のマナー、冠婚葬祭のマナー、国際社会で共通するマナーや礼儀までを習得する。

《授業の到達目標》

- ・社会人として求められる能力を習得することにより、社会人になるにあたっての意識の向上と基本的な心構えを持つことができる。
- ・ビジネスマナーや接遇の基本を理解し、体得することにより、実務能力を実践的に使えるようになる。
- ・日本のしきたりを習得することにより、伝統文化と人間関係の基礎を身につけることができる。

《成績評価の方法》

- 筆記試験 40%
- 課題 20%
- 授業の取組 40%
- 実技 % レポート %
- その他 () %

《教科書》

「マナー＆プロトコルの基礎知識」NPO法人日本マナー・プロトコル協会

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

課題および確認試験のフィードバックとして、解説の時間を設ける

《成績評価基準》

- ・社会人になるにあたっての意識の向上と基本的な心構えを持つことができたか。
- ・ビジネスマナーや接遇の基本を理解し、体得することにより、実務能力を実践的に使えるようになったか。
- ・日本のしきたりを習得することにより、伝統文化と人間関係の基礎を身につけることができたか。

《参考図書》

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション 序章 マナーとは何か	予習：指定されたテキストの箇所を熟読しておくこと(30分) 復習：授業での気づきをノートにまとめる(30分)
2	第3章 社会人に必要なマナー	予習：指定されたテキストの箇所を熟読しておくこと(30分) 復習：授業での気づきをノートにまとめる(30分)
3	第3章 社会人に必要なマナー	予習：指定されたテキストの箇所を熟読しておくこと(30分) 復習：授業での気づきをノートにまとめる(30分)
4	第4章 ビジネスシーンでのマナー	予習：指定されたテキストの箇所を熟読しておくこと(30分) 復習：授業での気づきをノートにまとめる(30分)
5	第4章 ビジネスシーンでのマナー	予習：指定されたテキストの箇所を熟読しておくこと(30分) 復習：授業での気づきをノートにまとめる(30分)
6	第4章 ビジネスシーンでのマナー	予習：指定されたテキストの箇所を熟読しておくこと(30分) 復習：授業での気づきをノートにまとめる(30分)
7	第1章 マナーの歴史と意味	予習：指定されたテキストの箇所を熟読しておくこと(30分) 復習：授業での気づきをノートにまとめる(30分)
8	第2章 国際人としてのプロトコル	予習：指定されたテキストの箇所を熟読しておくこと(30分) 復習：授業での気づきをノートにまとめる(30分)
9	第5章 食事のマナー 和食の作法	予習：指定されたテキストの箇所を熟読しておくこと(30分) 復習：和食の作法を実践する(30分)
10	第5章 食事のマナー 西洋料理	予習：指定されたテキストの箇所を熟読しておくこと(30分) 復習：テーブルマナーのポイントを実践する(30分)
11	第8章・9章 「婚」・「葬」のしきたり	予習：指定されたテキストの箇所を熟読しておくこと(30分) 復習：授業での気づきをノートにまとめる(30分)
12	第7章・10章 「冠」・「祭」のしきたり	予習：指定されたテキストの箇所を熟読しておくこと(30分) 復習：授業での気づきをノートにまとめる(30分)
13	マナーの基礎の総まとめ	予習：指定されたテキストの箇所を熟読しておくこと(30分) 復習：授業での気づきをノートにまとめる(30分)
14	確認試験と3級検定対策	予習：これまでの学習とふりかえり練習問題の復習をしておくこと(30分) 復習：確認試験から自分自身の理解度の確認をすること(30分)
15	マナープロトコル3級検定	予習：検定3級合格に向けてポイントの復習をしておくこと(30分) 復習：検定問題の確認をすること(30分)

《実務科目》

科目名	ラジオ番組制作演習				
担当者氏名	金子 朋未				
授業方法	演習	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・通年（前期）
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP2 メディアに関する職業意識と専門的な能力を兼ね備えていること。				

《授業の概要》

ラジオ番組で、自分で取材先を見つけ原稿を書き、レポートを行っていた教員が、ラジオでの話し方からトーク内容の構成まで、その実務経験を活かし、相手と円滑にコミュニケーションを取り、自分が伝えたいことを明確に表現することができるための実践的授業を行う。また、しゃべる際に適した発声方法を指導する。

《授業の到達目標》

声だけで表現する「ラジオ」において、見えないものを想像できるように、適切な言葉で表現できるようになる。現場の状況に応じた言葉遣い、声色で表現ができるようになる。ラジオ番組はどのような構成で作られているのか、どのようなテンポで話すのか自主的に聞いて研究し、自分なりのラジオ原稿を作って応用できるようになる。

《成績評価の方法》

実技 40% 授業の取組 60%

《教科書》

使用しない

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

希望があれば解説の時間を設ける。

《成績評価基準》

授業で習った発声方法をどのくらい習得できているか、滑舌良く話せるか実技試験で判断する。毎回の授業で、ラジオで、見えないものを表現豊かに伝えるための言葉を覚え、選ぼうと努めているかどうか、その取り組みの姿勢を評価する。

《参考図書》

適宜紹介する

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	発声、ラジオのQシートの見方	ラジオを聴く(30分) ラジオ番組の構成を復習する(30分)
2	発声、マイクの特性について	発声練習(30分) 聞いたことのないラジオ番組を聴く(30分)
3	ラジオCMのやり方	発声練習(30分) ラジオを聴く(30分)
4	ラジオCM 原稿読み(実践)	発声練習(30分) 読み方の改善点をノートに書く(30分)
5	フリートークのやり方	発声練習(30分) ラジオを聴く(30分)
6	フリートーク(録音&聞く)	発声練習(30分) ラジオのフリートークを聴く(30分)
7	フリートーク(録音&聞く)	発声練習(30分) ラジオを聴く(30分)
8	ラジオでの描写方法	ラジオを聴いて描写方法を研究する(30分) 家にあるものを描写する(30分)
9	ラジオ番組での描写(実践)	発声練習(30分) ラジオを聴く(30分)
10	ラジオ番組を構成する	発声練習(30分) ラジオを聴く(30分)
11	ラジオ番組を構成する	発声練習(30分) ラジオを聴く(30分)
12	ラジオ番組を構成する	発声練習(30分) ラジオを聴く(30分)
13	ラジオレポートのやり方	発声練習(30分) 自分のレポートの改善点をやり直す(30分)
14	ラジオレポート(実践)	発声練習(30分) 自分のレポートの改善点をやり直す(30分)
15	まとめ	発声練習(30分) 今後の目標や改善点をノートに書く(30分)

《実務科目》

科目名	映像制作演習				
担当者氏名	宮谷 未知子、金子 朋未				
授業方法	演習	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・通年（前期）
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP2 メディアに関する職業意識と専門的な能力を兼ね備えていること。				

《授業の概要》

メディアの制作現場での実務経験を持つ教員が、その経験を活かし映像制作の企画から演出、撮影や編集の方法を指導する。チームごとにテーマを設定し、テーマに沿った映像作品の制作を行う。

《教科書》

なし

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

発表した映像作品に対し、講評の時間を設けます。

《授業の到達目標》

学生全員が、映像の企画・演出・出演・撮影・編集に総合的にかかわる事によって、演技者の立場からの景色だけでなく制作全体の立場からの景色を見る能力の質を獲得する。

《成績評価基準》

チームでの映像制作となるため、それぞれの役割を果たし、チームの映像制作に貢献しているかどうかで判断する。

《成績評価の方法》

課題 30% 実技
授業の取組 70%

《参考図書》

「映像演出の教科書」
著書：藍河 兼一
出版：玄光社 MOOK

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション	予習：映像表現に関する本を自由選んで読んでおくこと(30分) 復習：自分の映像に必要な材料を集める(30分)
2	グループ分け、企画全体会議	予習：映像表現に関する本を自由選んで読んでおくこと(30分) 復習：自分の映像に必要な材料を集める(30分)
3	映像テーマごとの計画1	予習：取り組みたいテーマに近い映像作品を鑑賞する(30分) 復習：自分の映像に必要な材料を集める(30分)
4	映像テーマごとの計画2	予習：取り組みたいテーマに近い映像作品を鑑賞する(30分) 復習：自分の映像に必要な材料を集める(30分)
5	絵コンテ制作1	予習：取り組みたいテーマに近い映像作品を鑑賞する(30分) 復習：自分の映像に必要な材料を集める(30分)
6	絵コンテ制作2	予習：取り組みたいテーマに近い映像作品を鑑賞する(30分) 復習：自分の映像に必要な材料を集める(30分)
7	撮影1	予習：自分のグループのテーマに近い映像作品を鑑賞する(30分) 復習：撮影した動画を見て足りない部分を検討する(30分)
8	撮影2	予習：自分のグループのテーマに近い映像作品を鑑賞する(30分) 復習：撮影した動画を見て足りない部分を検討する(30分)
9	撮影3	予習：自分のグループのテーマに近い映像作品を鑑賞する(30分) 復習：撮影した動画を見て足りない部分を検討する(30分)
10	撮影4	予習：自分のグループのテーマに近い映像作品を鑑賞する(30分) 復習：撮影した動画を見て足りない部分を検討する(30分)
11	編集1	予習：自分のグループのテーマに近い映像作品を鑑賞する(30分) 復習：編集した内容を見て、より分かりやすくするための研究をする(30分)
12	編集2	予習：自分のグループのテーマに近い映像作品を鑑賞する(30分) 復習：編集した内容を見て、より分かりやすくするための研究をする(30分)
13	編集3	予習：自分のグループのテーマに近い映像作品を鑑賞する(30分) 復習：編集した内容を見て、より分かりやすくするための研究をする(30分)
14	編集4	予習：自分のグループのテーマに近い映像作品を鑑賞する(30分) 復習：編集した内容を見て、より分かりやすくするための研究をする(30分)
15	グループごとの作品相互鑑賞会および講評	予習：鑑賞会のプレゼンテーションの準備をする(30分) 復習：各グループの作品を見て、より分かりやすくするための研究をする(30分)

《実務科目》

科目名	プロジェクト・プランニング				
担当者氏名	BUI THI THU SANG、金子 朋未				
授業方法	演習	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・通年（前期）
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP4 社会人また表現者として、十分なコミュニケーション能力を身につけていること。				

《授業の概要》

前期は「プロジェクト学習」の基本と手法を理解しながら、各自や各チームのプロジェクトを計画して、発表する。

《教科書》

なし

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

課題は授業の時間内もしくは次の授業でフィードバックする

《授業の到達目標》

この授業は未来教育の手法と呼ばれる「プロジェクト学習」を活用し、学生自身が学びたいことや叶えたい夢を実現させるために様々な段階を想定し、各段階で教員の指導を受けながら自分達で体験し、「生きる心」及び「生きる力」を育成することを目標とする。「プロジェクト学習」を通して、学生が様々な人とコミュニケーションが取れるようになり、あるニーズに応じた企画が立案でき、その内容について明確に説明できる。

《成績評価基準》

ワークシート作成
企画の発表

《成績評価の方法》

筆記試験 % レポート %
課題 50% 実技 %
授業の取組 50%
その他 () %

《参考図書》

「プロジェクト学習の基本と手法」鈴木敏恵（教育出版）

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	「プロジェクト」とは	予習内容(30分): 将来・夢を説明する 復習内容(30分): なぜそうしたいか
2	「プロジェクト学習」の基本	予習内容(30分): 短大でやるべきことをリストアップする 復習内容(30分): 気になる課題をリストアップする
3	フェーズ「準備」	予習内容(30分): 短大で解決したい課題を選択する 復習内容(30分): 課題について調べる
4	ディスカッション	予習内容(30分): 課題解決について調べる 復習内容(30分): ディスカッションをまとめる
5	フェーズ「ビジョン・ゴール」	予習内容(30分): 目的を説明する 復習内容(30分): 目標を考える
6	ディスカッション	予習内容(30分): 目標を説明する 復習内容(30分): 目標の確認
7	フェーズ「計画」	予習内容(30分): 自分のスケジュールを確認する 復習内容(30分): 計画について考える
8	チームワーク	予習内容(30分): 計画を作成する 復習内容(30分): 計画を確認する
9	フェーズ「情報・解決策」	予習内容(30分): 具体的なアイデアを考える 復習内容(30分): 計画を修正する
10	ディスカッション	予習内容(30分): 参加資料をまとめる 復習内容(30分): 計画を修正する
11	フェーズ「制作」	予習内容(30分): 発表の仕方について考える 復習内容(30分): 発表の内容をまとめる
12	チームワーク	予習内容(30分): 発表の流れを考える 復習内容(30分): 発表を工夫する
13	フェーズ「プレゼンテーション」	予習内容(30分): 作品を確認する 復習内容(30分): 発表の原稿を作成する
14	発表会	予習内容(30分): リハーサル 復習内容(30分): 感想を書く
15	フェーズ「再構築」	予習内容(30分): 計画の変更について考える 復習内容(30分): 再構築

《専門科目》

科目名	検定読解				
担当者氏名	高向 有理				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに沿って 重点的に身につける能力					

《授業の概要》

日本語能力試験N2レベルを目標とした読解力を上げるための練習をします。目標はN2合格ですが、その練習を通して日本での生活に必要な文章を読む力を身につけます。授業は課題の開設を中心に行います。必ず課題を解いて全授業に出席してください。読解力向上のポイントは自宅学習です。自己管理能力を身につけましょう。

《授業の到達目標》

- ・学校や生活で必要な説明文や指示文を読んで内容を理解することができる。
- ・かんたんな内容の評論やエッセイを読んで、因果関係や筆者の考え方が理解できる。
- ・かんたんな内容の複数のテキストを読み比べて、共通点や相違点を述べるができる。
- ・文章から必要な情報を探し出すことができる。

《成績評価の方法》

筆記試験 50% レポート %
 課題 30% 実技 %
 授業の取組 20%
 その他 () %

《教科書》

日本語能力試験問題集N2読解スピードマスター
 (Jリサーチ出版)

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

課題の解説は次回の授業内で行う。
 理解度確かめるために、小テストを実施し添削して返却する。

《成績評価基準》

- ・毎回課題にしっかり取り組んで授業にのぞんでいたか。
 - ・授業で学んだ語彙や文法とまとめノートを作るなど自宅学習が十分になされていたか。
 - ・文章を理解するためのストラテジーを身につけることができたか。
- 以上の取り組み方と模試・期末試験で総合的に評価する。

《参考図書》

日本語能力試験N2関連問題集を適宜紹介します。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	実力テスト 身の回りの文書	予習：授業内容の確認 30分 復習：授業内で学習した語彙・文法 60分
2	通知文・お知らせ	予習：課題読解 60分 復習：授業内で学習した語彙・文法 60分
3	意見文	予習：課題読解 60分 復習：授業内で学習した語彙・文法 60分
4	説明文	予習：課題読解 60分 復習：授業内で学習した語彙・文法 60分
5	エッセイ	予習：課題読解 60分 復習：授業内で学習した語彙・文法 60分
6	小説	予習：課題読解 60分 復習：授業内で学習した語彙・文法 60分
7	新聞	予習：課題読解 60分 復習：授業内で学習した語彙・文法 60分
8	グラフと図表	予習：課題読解 60分 復習：授業内で学習した語彙・文法 60分
9	論説文	予習：課題読解 60分 復習：授業内で学習した語彙・文法 60分
10	統合問題	予習：課題読解 60分 復習：授業内で学習した語彙・文法 60分
11	模擬試験	予習：模擬試験準備 60分 復習：模擬試験の見直し 60分
12	模擬試験の解説 情報検索	予習：課題読解 60分 復習：授業内で学習した語彙・文法 60分
13	過去問題	予習：課題読解 60分 復習：授業内で学習した語彙・文法 60分
14	過去問題	予習：課題読解 60分 復習：授業内で学習した語彙・文法 60分
15	期末試験 まとめ	予習：期末試験準備 60分 復習：まとめ

《専門科目》

科目名	検定文法				
担当者氏名	入江 千治				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに沿って 重点的に身につける能力					

《授業の概要》

- 1.N2レベルの文法を理解し、くり返し使い方を練習する。
- 2.N2レベルの文法を使って、文章を書く練習をする。

《教科書》

『耳から覚える日本語能力試験文法トレーニングN2』

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

- ・テキストの各ユニット終了後、小テストを行い、翌週フィードバックを行う。
- ・毎週、宿題を提出し、翌週返却、フィードバックを行う。

《授業の到達目標》

- 1.日本語能力試験N2合格に向け、文法力の向上を目指す。
- 2.テキストで学んだ文法をよく理解し、日本語能力試験の問題において、正しい答えを導き出せる。
- 3.テキストで学んだN2文法を使用し、文章が書ける。

《成績評価基準》

- ・N2文法をよく理解し、文法力が向上できたか。
- ・日本語能力試験の問題において、正しい答えが導き出せるようになったか。
- ・N2文法を使用し、文章が書けるようになったか。

《成績評価の方法》

- ・期末試験50%
- ・小テスト・課題30%
- ・授業への取り組み20%

《参考図書》

パワードリル文法N2

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	授業についての説明 N2文法 導入・練習	予習：テキストの内容を確認/過去に学んだ文法の復習をしておく。(30分) 復習：第1回授業内容の復習(30分)
2	N2文法 導入・練習	予習：第2回授業内容の予習(30分) 復習：第2回授業内容の復習(30分)
3	小テスト N2文法 導入・練習	予習：第3回授業内容の予習(30分) 復習：第3回授業内容の復習(30分)
4	N2文法 導入・練習	予習：第4回授業内容の予習(30分) 復習：第4回授業内容の復習(30分)
5	N2文法 導入・練習	予習：第5回授業内容の予習(30分) 復習：第5回授業内容の復習(30分)
6	小テスト N2文法 導入・練習	予習：第6回授業内容の予習(30分) 復習：第6回授業内容の復習(30分)
7	N2文法 導入・練習	予習：第7回授業内容の予習(30分) 復習：第7回授業内容の復習(30分)
8	N2文法 導入・練習	予習：第8回授業内容の予習(30分) 復習：第8回授業内容の復習(30分)
9	小テスト N2文法 導入・練習	予習：第9回授業内容の予習(30分) 復習：第9回授業内容の復習(30分)
10	N2文法 導入・練習	予習：第10回授業内容の予習(30分) 復習：第10回授業内容の復習(30分)
11	N2文法 導入・練習	予習：第11回授業内容の予習(30分) 復習：第11回授業内容の復習(30分)
12	小テスト N2文法 導入・練習	予習：第12回授業内容の予習(30分) 復習：第12回授業内容の復習(30分)
13	N2文法 導入・練習	予習：第13回授業内容の予習(30分) 復習：第13回授業内容の復習(30分)
14	N2文法 導入・練習	予習：第14回授業内容の予習(30分) 復習：第14回授業内容の復習(30分)
15	総復習 期末テスト	予習：テスト前の総復習(60分) 復習：テスト後の確認(30分)

《専門科目》

科目名	検定文字語彙				
担当者氏名	高向 有理				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに沿って 重点的に身につける能力					

《授業の概要》

N3からN2レベルの教科書に沿って授業を進めます。3000～6000語を習得するためには自宅学習が必須です。予習・復習に時間をかけ、授業では語彙の運用と確認と応用小テストの繰り返しで力をつけていきましょう。語彙力は日本語力向上の第一歩です。

《教科書》

新完全マスター語彙 日本語能力試験N2
(スリーエーネットワーク)

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

小テスト、模擬試験は翌週にフィードバックします。

《授業の到達目標》

- ・日本語能力試験N3～N2レベルの漢字を読むことができる。
- ・N3～N2レベルの語彙の意味を調べ、短い文の中で使うことができる。
- ・名詞・基本動詞などは、自分で調べ、不明な点を教師に質問できる。
- ・日本語能力試験合格を目指し、自主的に取り組むことができる。

《成績評価基準》

- ・日本語能力試験N3～2レベルの漢字が読めるか。
- ・N3～2レベルの語彙の意味を調べ、短い文の中で使えるか。
- ・名詞・基本動詞は自分で調べ、不明な点を教師に質問できるか。
- ・日本語能力試験合格を目指し自主的に取り組めるか。

《成績評価の方法》

筆記試験 30% レポート %
課題 30% 実技 %
授業の取組 30%
その他(模試) 10%

《参考図書》

日本語能力試験関連問題集

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション、実力テスト	予習: 実力テスト準備 1時間 復習: 実力テスト復習 30分
2	実力テスト FB、語彙(社会1)	予習: 語彙(社会1) 30分 復習: 語彙(社会1) 30分
3	語彙(社会2)・短文作成	予習: 語彙(社会2) 30分 復習: 語彙(社会2) 30分
4	小テスト、語彙(社会3)・短文作成	予習: 語彙(社会3) 30分 復習: 語彙(社会3) 30分
5	語彙(自然)・短文作成	予習: 語彙(自然) 30分 復習: 語彙(自然) 30分
6	小テスト、語彙(和語動詞)、短文作成	予習: 語彙(和語動詞) 30分 復習: 語彙(和語動詞) 30分
7	語彙(漢語動詞)、短文作成	予習: 語彙(漢語動詞) 30分 復習: 語彙(漢語動詞) 30分
8	日本語能力試験模擬試験	予習: 模試準備 1時間 復習: 模試復習 1時間
9	小テスト、語彙(形容詞)、短文作成	予習: 語彙(形容詞) 30分 復習: 語彙(形容詞) 30分
10	語彙(副詞)、短文作成	予習: 語彙(副詞) 30分 復習: 語彙(副詞) 30分
11	小テスト、語彙(オノマトベ)、短文作成	予習: 語彙(オノマトベ) 30分 復習: 語彙(オノマトベ) 30分
12	語彙(漢語)、短文作成	予習: 語彙(漢語) 30分 復習: 語彙(漢語) 30分
13	小テスト、語彙(言い換え類義)短文作成	予習: 語彙(言い換え類義) 30分 復習: 語彙(言い換え類義) 30分
14	語彙(語形成)、短文作成	予習: 語彙(語形成) 30分 復習: 語彙(語形成) 30分
15	期末試験、まとめ	予習: 期末準備 2時間

《専門科目》

科目名	アジア文化交流史				
担当者氏名	永吉 美知子				
授業方法	演習	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに沿って 重点的に身につける能力					

《授業の概要》

日本との長い文化交流を時系列で紹介する
理解を深めるために 様々な資料やパワーポイントなどを用いる

《教科書》

なし

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

小テストと課題レポートの提出

《授業の到達目標》

文化交流がもたらされた歴史の必然性を理解する
過去の歴史が現代に影響し 未来を形づくることを意識化させる

《成績評価基準》

授業中の態度 小テスト 評価テスト

《成績評価の方法》

筆記試験70 % レポート %
課題 % 実技 %
授業の取組30 %
その他 () %

《参考図書》

なし

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)	
1	オリエンテーション 農業革命	復習	縄文と弥生時代(2時間)
2	古墳時代	予習 復習	奈良へのながれ(2時間) 弥生までの流れ(2時間)
3	飛鳥から奈良時代 遣隋使 遣唐使	予習 復習	平安時代(2時間) 中国との往来がかえたもの(2時間)
4	奈良時代 仏教文化	予習 復習	平安時代(2時間) 奈良時代を終わらせたもの(2時間)
5	平安時代 国風文化	予習 復習	鎌倉時代(2時間) 平安時代の貴族の政治(2時間)
6	鎌倉時代 武士と元寇	予習 復習	室町時代(2時間) 武士が変えた社会 元寇の影響
7	室町時代 文化	予習 復習	安土桃山(2時間) 室町文化(2時間)
8	安土桃山 鉄砲伝来	予習 復習	江戸時代(2時間) なぜ鉄砲は日本へきたかの(2時間)
9	江戸時代 鎖国と江戸文化	予習 復習	明治(2時間) なぜ鎖国をしたのか(2時間)
10	江戸時代 明治維新 黒船が日本へ	予習 復習	大正時代(2時間) なぜ黒船は日本へ(2時間)
11	明治時代 大正時代 条約改正 世界大戦	予習 復習	昭和時代(2時間) 大正時代(2時間)
12	昭和時代 敗戦まで	予習 復習	敗戦後の日本(2時間) 原爆投下までの道(2時間)
13	敗戦から現代まで	復習	全体の流れを把握する(4時間)
14	評価テスト対策	復習	対策テストの理解 (4時間)
15	評価テスト	自宅で復習	

《専門科目》

科目名	ビジネスコミュニケーション				
担当者氏名	井上 しづ恵、高藤 純子				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力					

《授業の概要》

社会に出る前に常識として知っておかなければならない時事用語やビジネス用語がある。先ずそういった常識を学び、知識を得た上で、新聞記事やビジネス文書を読めるようにする。更に、表やグラフなどを分析し、問題をあぶり出し、問題解決につながる糸口を提起できる力を身に付ける。

《教科書》

ビジネス能力検定ジョブパス

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

毎回演習問題を解き、授業内で解説する

《授業の到達目標》

- ・インターシップ前におさえておきたいビジネス知識やビジネスマナーを理解することができる。
- ・仕事に役立つ論理力を養うことができる。
- ・時事用語やビジネス用語を理解することができる。
- ・表やグラフを見て、問題発見や分析ができる。
- ・ビジネス能力検定3級に合格するする実力を身に付けることができる

《成績評価基準》

授業での演習を通して、ビジネス能力検定3級レベルの知識、思考力、分析力を身につけることができたかを評価する

《成績評価の方法》

筆記試験 40% レポート %
 課題 % 実技 %
 授業の取組 60%
 その他 () %

《参考図書》

適宜紹介する

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	キャリアと仕事へのアプローチ	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
2	仕事の基本となる8つの意識	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
3	コミュニケーションとビジネスマナーの基本	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
4	指示の受け方と報告、連絡・相談	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
5	話し方と聞き方のポイント	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
6	来客応対と訪問の基本マナー	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
7	会社関係でのつき合い	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
8	仕事への取り組み方	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
9	ビジネス文書の基本	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
10	電話応対	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
11	統計・データの読み方・まとめ方	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
12	情報収集とメディアの活用	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
13	会社を取り巻く環境と経済の基本	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
14	ビジネス用語の基本	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
15	知識・読解・分析などの総括	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する

《専門科目》

科目名	ビジネスライティング				
担当者氏名	志田 華奈子、高藤 純子				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに沿って 重点的に身につける能力					

《授業の概要》

自らの意見や立場を言葉で明確に表明することは社会人として必要なスキルである。日本語は書き言葉や話し言葉、場面などで、さまざまな使い分けが必要な言語である一方、新しい表現を生み出しやすい言葉でもある。この授業では、さまざまな資料から多くの日本語表現に触れつつ、自らも文章を書き、他者への伝わり方を議論することで、コミュニケーションの道具としてのことばを活用できるスキルを磨く。

《授業の到達目標》

- ・社会に出るにあたって必要な文章力や表現力を磨き、場面に応じた日本語表現を使用することができる。
- ・自らの意見や表現したいことを、他者がわかりやすいように言葉に表すことができる。
- ・語彙力や表現力を伸ばすために、普段から身の回りにおけることばの表現に関心を持ち、調べ、それらを使用できようになる。

《成績評価の方法》

筆記試験 40%
課題 30%
授業の取組 30%

《教科書》

適宜プリントを配布

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

コメントをつけて返却する

《成績評価基準》

- ・社会に出るにあたって必要な文章力や表現力を磨き、場面に応じた日本語表現を使用することができたか。
- ・自らの意見や表現したいことを、他者がわかりやすいように言葉に表すことができたか。
- ・語彙力や表現力を伸ばすために、身の回りのことばの表現に関心を持ち調べ、それらを使用できようになったか。

《参考図書》

『大学生のための日本語表現トレーニング』橋本修(三省堂)
『形容詞を使わない大人の文章表現力』石黒圭(日本実業出版社)

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション	復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)
2	話し言葉と書き言葉	予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)
3	描写 (見たものを描写する)	予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)
4	描写 (絵や動画を描写する)	予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)
5	形容詞問題	予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)
6	外面と感覚の表現	予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)
7	伝え方のコツ (依頼)	予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)
8	伝え方のコツ (効果的な表現)	予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)
9	SDS法・文章のコツ	予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)
10	敬語表現	予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)
11	メールの書き方	予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)
12	ビジネス文書	予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)
13	自己PR文 (自己分析)	予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)
14	自己PR文 (文作成)	予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)
15	期末試験 まとめ	予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)

《専門科目》

科目名	実践的プログラミング演習				
担当者氏名	柿山 達哉、常岡 直樹				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力					

《授業の概要》

Excelの一般的な利用方法の解説と実習。
 マクロ・VBAの概要の解説と実習。
 マクロを使ってプログラムを作成する。
 作成したプログラムのプレゼンテーションをおこなう。

《教科書》

今すぐ使えるかんたんエクセル2019
 井上香緒里著
 技術評論社

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

個人ごとに課題に対する評価レポートを提示し、説明する。

《授業の到達目標》

マイクロソフトExcelの基本的な関数機能を使用することができる。
 簡単なExcelマクロ機能のプログラミングからテストができるようになる。

《成績評価基準》

- ・授業に対し意欲的に取り組んでいたか。
- ・課題に対して真摯に取り組むことができたか。
- ・出席率、予習、復習を重視します。

《成績評価の方法》

課題 60%
 授業の取組 40%

《参考図書》

適宜紹介します

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	講座の目標と2年間の講義内容説明	予習：なし 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
2	パソコン活用術	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
3	パソコン活用術	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
4	エクセルの基本操作	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
5	エクセルの計算式と関数	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
6	エクセルでよく使う関数の解説と実習	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
7	エクセルでよく使う関数の解説と実習	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
8	エクセル計算式と関数の実習	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
9	エクセル計算式と関数の実習	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
10	マクロ・VBAとはVBAで何ができるのか	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
11	簡単なマクロコーディング・開発画面の使い方	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
12	簡単なマクロコーディング・VBAの基礎知識	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
13	簡単なマクロコーディング・VBAの基礎知識	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
14	簡単なマクロコーディング・実習	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
15	簡単なマクロコーディング・実習	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)